



市政研究会 水谷 進 議員

- 1 学校現場では何が起きているのか
(1) 暴力行為・いじめ・携帯電話の現状について
- 2 市有財産の売却について
(1) 旧教育委員会跡地の売却について

質問1(1) 対教師暴力の件数と、生徒の問題行動に対処する先生方の心と体の健康状態をどのように考えているのか。

答弁1(1) 対教師暴力は残念ながら25件である。学校では教員が一人で生徒指導に悩むことが無いよう組織的な生徒指導体制を進めている。

質問1(2) 問題生徒に対し、毅然とした対応で「出席停止」の執行をするという強い姿勢であるのか。

答弁1(2) 学校や保護者から十分な聞き取りを行った上で、法令や管理規則に基づき慎重かつ適切に「出席停止」の執行を行う。

質問1(3) いじめのアンケートで「伝えても無くならない、解決しない」という回答の重要なメッセージをどのように認識しているのか。

答弁1(3) この実態は重要な課題と認識している。子どもが安心して相談できる先生との関係を築くことが重要であると考えている。

質問2(1) 計画性も持たず、約9億で購入した土地建物を約4千万円で「現状処分」した理由は何か。

答弁2(1) 老朽化及び耐震性に問題がある建物を放置することは街づくり上、防災上、景観上好ましくないことにより売却処分をした。



市政研究会 森 義明 議員

- 1 経済危機、景気の悪化、不況時の対応について

質問1(1) 市長は現状をどのように認識しているか。

答弁1(1) 市内でも雇用情勢が急速に悪化しつつあり、市としては国などの動向を把握し対応する。

質問1(2) どのような行動をとるのか。

答弁1(2) 平成21年度予算では、市税収入が39億円の減となり、新規事業の制約など削減を行った。

質問1(3) 市民にみえた改革をすべきでは。

答弁1(3) これまで以上に、私が先頭に立ち職員個々の改革意識や実行力をもって改革をすすめる。

質問1(4) 市民センターの統廃合をすべきでは。

答弁1(4) 統廃合するのではなく、活力ある地域づくりの拠点として活用したい。

質問1(5) 幼保一元化をし改革すべき。

答弁1(5) 平成20年から現在まで、検討委員会で9回にわたり審議されている。

質問1(6) 行政の計画・政策は職員主導すべき。

答弁1(6) 外部に委託するか、職員で作成するかはその効率性などを勘案した上で判断したい。

質問1(7) 財政不足のいま、対応策を発表すべき。

答弁1(7) 市民ニーズに応える為に、創意と工夫で、最小の経費で最大の住民満足度を得よう取組む。

質問1(8) 以上のことを実行する市長の決意は。

答弁1(8) 市民目線で、対話により生まれる理解と信頼関係を構築しながら施策に取組む。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 認知症対策について
(1) 認知症高齢者の状況について
(2) 今後の対策について
- 2 モンスターペアレントについて
(1) 学校問題解決支援チームの現状について

質問1(1) 認知症高齢者の把握は如何か。

答弁1(1) 本市の65歳以上の介護認定者は5,424人である。今後は認知症高齢者が安心して暮らせるよう地域ぐるみで見守り、支援が必要である。

質問1(2) 認知症サポーターとはどのようなものか。また来年度の認知症対策事業はどのようなものか。

答弁1(2) 認知症を理解し認知症の人や家族を見

守ること。講習を受ければ認知症サポーターに認定される。徘徊等はコンビニや駅など社会資源の協力を得る早期発見のシステムをH21年度から実施する。

質問2(1) どのような組織になっているのか。

答弁2(1) 警察官OBを含むプロジェクト会議と4人の専門委員からなる支援委員会で組織される。

質問2(2) 保護者からの要求や抗議の件数、内容について。

答弁2(2) 19年度は76件で学校の対応や考え方への抗議、給食費の未払いが多い。現在、支援チームは、15件に対応し、14件を改善の方向に導いた。

質問2(3) 各学校への周知と今後の取組について。

答弁2(3) 月1回校長会で保護者への適切な対応や指導助言をしている。広報等でも周知予定である。